



私の3冊

藤原 大

後輩に薦める 2 冊

中村隆一，齋藤 宏，長崎 浩（著）

基礎運動学，第 6 版 医歯薬出版，2003 年発行

リハビリテーション医に必要な知識として，他科と比べて特徴的なものが「運動学」だと思います。とはいえ，大学でもあまり教えられない内容に戸惑いも多いはずで，運動学とは何か？ を，基本のところから本質に至るまで触れることのできる良書です。専門医試験の際にも役立ちました。私が研修医の時に上級医に薦められ，今も研修医の先生方と一緒に輪読しています。

水尻強志，富山陽介（編著）

脳卒中リハビリテーション，第 3 版 早期リハからケアマネジメントまで

医歯薬出版，2013 年発行

リハビリテーション専門職養成校でも多く使われている教科書です。初期臨床研修を終えて専門研修に入ったばかりの先生方には，よい“入口”になる書籍です。脳卒中リハビリテーションの基本的な知識や考え方が，現場でさまざまな経験を積んできた医師の手によって，とても実践的にまとめられています。後輩にはまず通読することを推奨しています。ちなみに私も分担執筆しています。

自分の 1 冊

道免和久（編）

ニューロリハビリテーション 医学書院，2015 年発行

リハビリテーション職とともにセラピーについて議論を進める時，基本となるリハビリテーションの知識や考え方を習得していることが必要ですが，なかなか難しいのも現実だと思います。本来の“neuroscience based rehabilitation”の立場から，各種ニューロリハビリテーションの実際について解説されている良書です。リハビリテーションプログラムを考える時だけでなく，患者・家族へのわかりやすい説明にも繋がります。私はいつも枕元において，繰り返し読んでいます。

■ ふじわら・だい 医師 17 年目 公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院リハビリテーション科科长

地域の中でリハビリテーションをどう根づかせるか？ をテーマに取り組んでいます。地域支援病院内の回復期リハビリテーション病棟で勤務しながら，急性期を担う他科とリハビリテーションとのコラボレーションを進め，地域医療に貢献することを目指します。